

2021/10/03 (月)

朝の礼拝

聖書 ローマの信徒への手紙 12章 2節 (新約聖書291頁)

あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにして自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい。

### 神様に喜ばれること

誰かが誕生日を迎えたとしましょう。誕生日ケーキを「平等」に分けると言えば人数分を等分にします。しかし「公平」に分けるとなると何等分かではなく、誕生日を迎えた人にはちょっと大きめに分けようとなり、後の人たちには残りを平等に分けることとなります。

さらに「公正」に分けるとなると、正しく分けるという意味が加わります。例えばあの子が好きだからちょっと大きめに切るのは不正です。みんなは目の前のケーキがちゃんと等分に分けられているのか見えています。

そこでこの誕生日ケーキを世界の食糧にして考えてみましょう。この世界では食糧が「平等」に分けられているのでしょうか。さらに食べ物に困っている人へ「公平」に分けられているのでしょうか。そして配られた食料が「公正」に分けられているのでしょうか。

ケーキの食べられる国でも食べられない国でも、生まれた赤ちゃんは同じようにミルクを求めて泣きます。自分たちの平等、公平、公正を考えるように、必要な人に必要なものが行き渡るように想像してみましょう。神様に喜ばれることに近づくかもしれません。

しばらく黙祷しましょう。

慈しみ深い主よ、あなたはすべての人がみな正義と公平を保ち、互いに愛し、仲よく生きることを望んでおられます。どうか人びとが互いに助け合い、ことに悩み、苦しみ、孤立している人びとが、必要な慰めと支援を受けて、この社会にあなたの御心が行われるようにしてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせて下さい。主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン